

くろぐみだより

第1号 平成23年5月16日 あさひこ幼稚園

今日のあさひこ tweet…

(園外保育のおにぎりに、顔の形のデコレーションがしてあるのを見て)

「ほっぺが赤いね、恋をしてるんだらうねえ」

by 年長・男・Rくん

今年度いろいろ変わったこと… その1「スタンプノート編」

登園して「おはよう！」の挨拶のあと、かばんから取り出すスタンプノート。一日の始まりに「よーし幼稚園でいっぱい遊ぶぞー！」という思いでスタンプを押しています。子どもたちの大切な生活リズムのひとつです。

- ・年少組では…「今日はどこ?」「今日はね、ここだよ!」と、先生との一対一の大切なコミュニケーションの場。今は、大好きな先生とやりとりをしながらスタンプを押しています。また3学期からは、スタンプノートと同じカレンダーを見ながら自分で押します。
- ・年中組では…年少の後半に引き続き、スタンプノートと同じカレンダーを見ながら、今日はどこかな?と自分で探して押しています。友だちが「今日はここだよ」と教えてくれる姿も見られるようになります。
- ・年長組では…黒板のカレンダーを見て押しています。お休みしたときには、お休みのスタンプも自分で押します。

スタンプノートの中を見ても…スタンプの向きにもこだわって慎重に押してある子、自分で押せるのが嬉しくて、ポンポンと一度に一月分全部押してある子(その次の日から重ね押しをする子もいます)、カレンダーじゃない所や、まだ先の月の所に押している子(12月くらいにこいのぼりのスタンプが押してあるのを見つけたときは…思わず口元がほころびます)、力を入れてグリグリ押しつけ、今月のスタンプの原型が毎月わからない子…などなど、毎月毎月、ひとりひとり自分のオリジナルスタンプノートが出来上がっています。

昨年度までは、スタンプノートを「出席の記録用」という事務的なスタンプで捉えている点もあり、上記のような、子どもたちの楽しんだ印を、わざわざシール等で消し、先生たちがきれいにスタンプを押すという作業をしてきましたが、今年度からは、「たくさん幼稚園で遊んだよ!」という、その時の子どもたちの姿をそのまま残す、思い出のノートにしていくため、先生による修正は行わないことになりました。わが子が1年間でどんな思い出ノートを作るのか、楽しみにしててください!

またそれに伴い、今までは「1ヵ月欠席なし」の子に「がんばったねマーク」を押していましたが、これからは、お休みの数に関わらず、「幼稚園に元気に来て、いっぱい遊んだね!」の思いをこめて、全員に「がんばったねマーク」を押したいと思います。出欠日数については、月ごとのところに記録します。ノートの最後の出欠欄への記入は、園からはしませんので、ご了承いただき、ご家庭で記入するなど自由にお使いください。(文責:主任)

今年度いろいろ変わったこと… その2「クラスパーティー編」

すでにお伝えしている通り、今年度は「クラスパーティー」を年少さんのみで行うこととなりました。

これは、もともとクラスパーティーは、クラスの保護者(特にお母さん)同士のつながりのきっかけとなればということで、全学年で行ってきたのですが、近年は、保護者参加の園外保育などの園行事で、クラスの保護者が顔を合わせる機会がとて多いため、年中・年長についてはクラスパーティーの役割を終えただらうとの思いからです。ご理解ください。そして、園の保護者参加行事に、ドンドン遊びに来てくださいね!!(文責:副園長)

園長のコーナー ヒトとチンパンジーの遺伝子は98.4%一緒だ。健康によくないと知りながら食欲に負けてメタボを招くのは、森で今食いためなければ、次はいつ食べられるかわからないというヒトとサルとの共通の本能のためだ。つまり、遠い未来より、今日の目先の都合を優先してしまう。原発も同じだ。子どもたちの未来より、今の大人の都合を優先してメタボなエネルギーによる豊かさに執着してしまう。電力不足による経済悪化を言い訳に、もはや国際語となった“FUKUSHIMA”の惨状にさえ目をそらしたままているのは、まさに“猿知恵”以外の何者でもない。だから…、浜岡ぐらいで騒ぐな!!!今は、かつては日本の家族が持っていた「貧しいながらも楽しい我が家」を取り戻すチャンスととらえたい。1.6%の人間性を信じて…。

こんにちは!「くろぐみだより」編集長の副園長です。

突然ですが、今回、園と家庭をつなぐおたよりのひとつとして「くろぐみだより」を作ってみました!このお手紙は、くろぐみ=職員室の、主に園長先生・主任・副園長から皆様へ、幼稚園のこと・保育のこと・その他まあなんだか変な話まで、色々と徒然と書き連ねていく予定です。

また「くろ」の名にふさわしく、ちょっと「ブラック」な、あさひこつつしんでは書きにくい、またはクラス担任からは伝えにくいネタも書いていく「かも」しれません。「裏あさひこつつしん」と言いますか、「海賊版」と言いますか、そんなスタンスでいこうと思っています!

なお発行は不定期!です。今回限りで廃刊になってしまうかもしれませんが…まあ、せっかくですから今回の「くろぐみだより」を、どうかお楽しみください!

さらによい保育を目指して… がんばります! 連載その1?

突然ですが、園長以下あさひこ教職員、わたしたちは思っていることがあります。

それは、「最高の保育がしたい!」ということです。

大きな声では言えませんが、でもちょっと言いたいのは、私たちは自分の保育(幼児教育)に誇りを持っています。あさひこ幼稚園は、本物で最高、おそらく日本一の保育ですよ!と言いたいくらいなのです。

でも、現状に満足せず、さらによい保育をしていきたいのです。

そのために、今年度も、年度の節目にいろいろなことを考えました。

その中でも一番考えたことは、「事業仕分け」です。

保育をしていると「あれもやりたい、これもやりたい」「あれもやるべき、これもやるべき」と、どんどん活動やそれにまつわる準備が増えていきます。(子どもも、先生もです。特に、年長さん)

しかし、実際に保育をするのは、クラスにつき、たったひとりの先生。毎日毎日、朝の準備も、保育中も、園児降園後も一生懸命がんばっていますが(自分で言うのもナンですが)、このままじゃ先生だって倒れてしまう。それに、やりたいことが増えすぎて、保育にゆとりがなくなってしまう、子どもたちが急かされたように生活しているのでは、ひとつひとつの活動に価値があっても、全体的には負担になりすぎてしまいます。

だから、「本当に重要な、やるべき保育って何?」を改めて見つめなおし、ちんと絞り、バランスをとり、優先度の低いものを仕分けしていくことを考えました。

それによって、わかりやすいところで例えれば、例えば年中・年長のクラスパーティーがなくなったり、「おもいパーティー」がなくなったりと、年間行事予定にも変化があらわれています。

ご家庭からの目で見ると、ひょっとして、「前の年にあった行事がなくなった!」と、表面に表れる部分で「アレ?」と思われるところがあるかもしれません。

しかし、それは、行事名では表せない毎日の保育を充実させていくために、行事をなくした、ということなのです。

あさひこ幼稚園の最も良いところは、「自然に囲まれていること」や、「園舎が新しく広いこと」や、「ステキな行事があること」ではありません。

最も基礎的で、目立たず、地味なところ。「毎日の保育・生活」を、着実に、確かに、きちんと行っていることです。

「保育の仕分けは、その部分を充実させるためなんだ」と、ここはひとつ、「玄人っぽい視点で」ご理解いただきたいなあと思ひまして、そんなことを書かせていただきました。今年度も、「最高の保育」を目指して、園長も、ベテランも、新任も、力を合わせお互い助け合い教えあい、一丸となって(まさにチーム保育で!)がんばっていきたいと思います。

そしてそのためには皆さんのご理解ご協力が必須!なのです!

だって、私たち(幼稚園と保護者)は、「商売人とお客」なのではなく、「子育て共有者」なのですから!

どうか今年度もよろしくお願ひいたします!!楽しくやりましょう。

イエイ。(文責:副園長)